

浄泉寺本堂利用に関する

新型コロナウイルス感染症拡大防止

ガイドライン

初版 令和2年6月22日

浄土真宗本願寺派 浄泉寺

浄土真宗本願寺派浄泉寺における新型コロナウイルス感染防止対策を講じた浄泉寺本堂の利用再開および行事の開催に関する方針に基づき、広く有縁の人々に参拝いただくための浄泉寺本堂の利用再開および行事の開催にあたっての感染症拡大防止ガイドラインをまとめました。

当ガイドラインは彩の国「新しい生活様式」安心宣言、国が示した「イベント開催制限の段階的緩和の目安」に準拠します。

I 本堂利用の制限等

本堂の利用参拝再開に際しては、次のことに留意しましょう。なお、人数については感染拡大状況により変更されることがあります。

(1)共通

- ア 発熱などの体調不良については参拝や参加、利用を制限する
- イ 本堂に参拝する、利用する総数（関係者を含めて）の制限を遵守する
- ウ 住職は参拝者、利用者全員を名簿などで把握する
- エ 住職は本堂使用後に消毒作業を行う
- オ 法要行事の間に換気を徹底する

(2)庭園

三密状態の密集、密接に対するリスク回避を講じる

- ア 参拝者、利用者同士が一定の距離を保つ

イ 人数制限を超えた不特定多数の利用は当面、行わないこととする

(3)本堂

ア 参拝者、利用者同士が一定の距離を保つ

イ 当面の間、本堂の人数上限を10人とし、これを超える人数が入室しない

ウ 人数上限を超える行事、利用は当面、行わないこととする

(4)本堂利用の管理

ア 住職は参拝時、利用時に名簿を準備し、参拝者、利用者に名簿への記入を求める

イ その名簿を行政または保健所の求めがある場合、閲覧できるよう整えておく

2 参拝者、利用者向け対策

(1)利用時などにおける対策

- ・本堂入口に「発熱のある方、体調不良の方は参拝、利用を制限する」旨の掲示をおこなう

- ・参拝者、利用者にマスク着用の徹底など、周知を行う（屋外は適宜）
- ・発熱が疑われる参拝者、利用者に対しては、発熱が認められる場合は参拝、利用を制限する

- ・本堂入口や各所に消毒備品等を設置し、参拝者、利用者の手洗いや手指消毒の徹底を図る

- ・利用の区分に応じて参拝者、利用者数や滞在時間の制限を設ける。特に本堂内では三密（密閉、密接、密集）に十分留意する

(2)本堂内における対策

- ・換気の実施を徹底する
- ・可能な場合は窓、出入口を常時開放または適宜開放する
- ・本堂内における着席位置の配置を工夫し、人と人との間隔ができるだけ2メートル程度確保する
- ・参拝者、利用者に対し、手洗い、手指消毒の実施に加え、大声での会話などの飛沫感染のリスク発生を慎むよう適宜指導する
- ・共有スペース（トイレなど）の器具、手や指が触れる物品をこまめに消毒または洗浄する
- ・配布物は直接手渡しせず、棚や机に据え置いて配布する

3 従事者向け対策

(1)職員の体調管理

- ・職員が使用する衣服はこまめに洗濯する
- ・職員に対し、出勤前の検温や新型コロナウイルス感染症を疑われる症状の有無を確認させて、毎日の報告を徹底する
- ・体調不良の場合は休養を促し、勤務中に体調不良となった場合には、ただちに帰宅させ自宅待機する

(2)勤務中、休憩中における対策

- ・職員は石鹼での手洗い、手指消毒を適宜行う

- ・職員は勤務中マスク着用を原則とする
- ・職員間はできるだけ2メートルの距離を保てるよう配慮する
- ・執務室内の換気を適宜行う
- ・休憩室などの規模による入室制限、対面での会話を禁止する
- ・職員同士が共有する物品等、共有を避けることが難しいテーブル、椅子などは定期的に消毒する

(3)執務体制

- ・感染防止に向けたローテーション勤務などをおこなう

4 本堂環境整備

(1)窓口における対策

- ・人と人との対面が想定される場所では最低人数での対面とし、かつ2メートル程度の距離を保ち、大声を出さず、複数の参拝者、利用者同士で混雑する状況を回避する
- ・非接触によるやりとりが可能な手法ができる限り導入し、接触機会が減少するよう最大限努力する

(2)トイレにおける対策

- ・適時、手袋やマスク着用の上、定期的に拭き上げ消毒する
- ・共用タオルは使わず、ペーパータオルを設置する
- ・使用後は蓋を閉めてから流水すること、利用の時間を適宜空けて使用するよう、周知を徹底する

(3)ゴミの廃棄における対策

- ・鼻水、唾液などがついたマスク、紙類の廃棄物はビニール袋に入れ、ひもを縛って密閉した上で廃棄するよう、参拝者、利用者にも表示する
- ・ゴミを回収する従業員は収集の際、手袋とマスク着用の上、手袋とマスクを脱いだ後、必ず石鹼と流水で手を洗い、手指消毒を徹底する

5 消毒・清掃について

- ・不特定多数が触れる場所、器具、物品を適宜消毒する
- ・消毒は次の機会にする
 - ア 共用スペースは開室前と閉室後、その他適宜消毒する
 - イ 参拝者、利用者が入れ替わる機会

以 上